

ゲルパック

時代が求める高品質 [可塑材]

土木技術の目覚ましい発展により地下の高度利用はますます進んでいくことは明白であります。中でも地下にトンネルを掘る技術の1つに推進工法がありますが、この工法はより大口径化になり、また長距離化とカーブ推進が増え困難を極めて行くものとなります。

このような状況の中で推進工法に使われる材料のうち、可塑材に注意を払うことは大きな意義があるものと考えております。

私共は従来品に比べより安定した商品を開発いたしました。それが『ゲルパック』です。『ゲルパック』は皆様方の仕事にお役に立つ商品であることを確信しておりますのでどうぞご愛顧の程、宜しくお願い申し上げます。

ゲルパックの特長

- 二液がノズルの先端で反応してゲル状になります。
- 摩擦減少効果大きい
- 管体周囲で止水効果を発揮する
- 地盤地下防止剤としても使用できます
- 容積安定性が高く地中への散逸がない
- 年間を通じてゲルタイムを30秒～40秒に設定してあるため施工計画が立てやすい
- ゲルタイムの伸びによる使用ロスが減少する
- 工場で一貫生産のため品質の一定な製品が供給できる
- 安全性が高い製品であり地下への汚染はない

■製品構成

| 品名 | ゲルパックA剤 | ゲルパックB剤 |
|-----|---------|---------|
| 内容量 | 25kg | 20 kg |
| 荷姿 | 石油缶 | ビニール袋 |

A剤については200ℓドラム、800ℓコンテナもあります。

■製品の性状

| 品名 | ゲルパックA剤 | ゲルパックB剤 |
|----|---------|---------|
| 外観 | 無色透明液体 | 灰白色粉体 |
| 比重 | 1.38 | 2.25 |
| 粘度 | 130cps | — |
| PH | 11 | 中性 |
| 臭気 | なし | なし |

■製品の性状

| A 剤 | | B 剤 | |
|--------|------|--------|------|
| ゲルパックA | 50kg | ゲルパックB | 20kg |
| 水 | 164ℓ | 水 | 188ℓ |
| 合計 | 200ℓ | 合計 | 200ℓ |
| 全体合計 | 400ℓ | | |

施工上の注意

- ゲルパックはA液とB液をそれぞれ練り上げグラウト孔付近で合流させるものです。
- A液とB液はそれぞれ別々に攪拌して下さい。
- ミキサーを攪拌しながらゲルパックB剤を投入して下さい。
- A液・B液の攪拌時間は5分～10分を目途に未溶解分がない様に行ってください。
- 圧送はミキサーを必ず攪拌しながら行って下さい。

ゲルパックの用途

- 各種推進方法
- シールド工法

取扱上の注意

- 防塵マスク・防塵メガネを着用のうえ取扱い下さい。
- 目に入った場合、皮膚に付いた場合は15分間清浄水で洗って下さい。
- 吸入したり飲込んだりした場合は鼻かみやうがいによりできるだけ取り出して下さい。
症状によっては吐出させずに医者診察を受けて下さい。
- 製品そのものは無害ですがお取り扱いには十分注意して下さい。
- 残材は産業廃棄物としてお取り扱い下さい。

ゲルパック 製造販売元

株式会社 **ヤマコ**

本 社
〒509-5122 岐阜県土岐市土岐津町土岐口2128番地
○土岐事業所
〒509-5122 岐阜県土岐市土岐津町土岐口1372-1番地
TEL 0572-55-2191 FAX 0572-54-5100

- ゲルパックについてのお問い合わせは下記へお申し付け下さい。
販売代理店